

古代「斯波(志波)」郡北部の土器群変遷(その2)

—零石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料②—

盛岡市遺跡の学び館 津嶋 知弘

[キーワード：古代土器 斯波郡 編年 十和田a 放射性炭素年代測定]

1.はじめに

前稿となる『古代「斯波（志波）」郡北部の土器群変遷（その1）』（津嶋 2013）では、零石川南岸地域で盛岡市教育委員会が発掘調査を行った古代遺跡出土土器群を対象に、その変遷を検討し、論点の整理と編年試案の提示、資料集成を行った。2015年現在においても、その枠組みに変わることはないものの、その後新たに数冊の発掘調査報告書が刊行されたことから、編年試案の改訂と資料集成の追加を行うこととした。なお、編年試案検討の前提としている、「文献にみえる「斯波（志波）」」「曆年代と志波城と十和田a火山灰」、「集落の性格区分」といった事項については前稿を参照していただきたい。また、志波城跡と周辺の集落遺跡の概要については、拙稿（津嶋 2004）も参照されたい。

2.古代土器群の変遷

発掘調査により出土した土器群を各年代に位置付けるにあたって、前稿と同じではあるが、いくつかの前提を明示する。対象とする土器群は、堅穴建物跡等の遺構から一括出土した土器群を単位としており、型式学的な資料操作は基本的に行っていない。つまり廃棄時の消費地組成をそのまま単位としている。また土器の種別は、以下のとおりとしている。

〔壺類（高台付、塊、鉢を含む）〕

- 土師器壺A：非ロクロ整形、酸化炎焼成、内面または内外面にミガキ調整+黒色処理
- 土師器壺B：ロクロ整形、酸化炎焼成、内面または内外面にミガキ調整+黒色処理
(いわゆる「ロクロ内黒土師器壺」)
- 須恵器壺：ロクロ整形、還元炎焼成
- あかやき土器壺：ロクロ整形、酸化炎焼成 (いわゆる「ロクロ土師器壺」・「須恵系土器壺」)

〔甕類（壺、長頸瓶を含む）〕

- 土師器甕：非ロクロ整形、酸化炎焼成
- 須恵器甕：ロクロ整形、還元炎焼成
- あかやき土器甕：ロクロ整形、酸化炎焼成 (いわゆる「ロクロ土師器甕」・「須恵系土器甕」)

以下、7世紀から11世紀の各年代に相当すると考えられる土器群を列記し、その組成・特徴を記述する。別紙の編年表も参照されたい。なお、7・8世紀の土器群は、並行すると考えられる宮城県域の土器型式名を併記した。また、本稿で追加資料のない年代についても、一連の土器群変遷がわかりやすくなることを意図して、内容を記述している。

■7世紀前半(栗団式期前半相当) ※追加資料なし

在地蝦夷系一般集落

竹鼻遺跡第11次調査RA027堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴): 土師器壺A(口縁部外反・体部有段・丸底), 土師器甕(口縁部外反・長胴)

■7世紀後半(栗団式期後半相当) ※追加資料なし

在地蝦夷系一般集落

台太郎遺跡第25次調査RA345堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴): 土師器壺A(口縁部外傾・体部有段・丸底), 土師器甕(口縁部外反・長胴・球胴)

■8世紀前葉(国分寺下層式期前半相当) ※追加資料なし

在地蝦夷系一般集落

台太郎遺跡第27次調査RA490堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴): 土師器壺A(口縁部外傾・体部有段・丸底), 土師器甕(口縁部外反・長胴・球胴)

■8世紀中葉(国分寺下層式期後半相当) ※追加資料なし

在地蝦夷系一般集落

台太郎遺跡第55次調査RA613堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

西鹿渡遺跡第20・21次調査RA040堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴): 土師器壺A(口縁部やや内湾・体部有段・丸底), 土師器甕(口縁部外反・長胴・球胴)

■8世紀後葉～9世紀前葉

在地蝦夷系一般集落

野古A遺跡第21次調査RA057堅穴建物跡出土土器(盛岡市教委編2014a)〔第1図〕

野古A遺跡第25次調査RA074堅穴建物跡出土土器(盛岡市教委編2014a)〔第2図〕

台太郎遺跡第79次調査RA670堅穴建物跡出土土器(盛岡市教委2014)〔第3図〕

台太郎遺跡第78次調査RG005大溝跡出土土器(盛岡市教委2014)〔第4図〕

台太郎遺跡第25次調査RA381・373堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第27次調査RA491堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第27次調査RA492堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第41次調査RA542堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第46次調査RA578堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

百目木遺跡第14次調査RA116堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

西鹿渡遺跡第21次調査RA041堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

高槽A遺跡第2・3・5次調査RA005・009・012・030・033堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

高槽A遺跡第2・3・5次調査RA015・020・031堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴): 土師器壺(高台付)A(口縁部内湾・体部有段風沈線または沈線なし・平底風丸底),

土師器高台付壺(柱状高台), 土師器甕(口縁部外反・長胴・球胴), 猛惠器壺(オツガ)

■9世紀前葉 ※追加資料なし

志波城跡(城柵、律令政府)

【政庁周囲「造志波城所」関連施設(堅穴建物)(803年頃)】

志波城跡第36次調査SI426堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第38次調査SI428・430堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第97次調査SI459堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第34次調査SI425堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第92次調査SI458堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴) :

組成①須恵器壺(口縁部直線の外傾、底部へラ切り・再調整),

須恵器蓋・盤・高台付塊・稜塊・甕・長頸瓶、あかやき土器甕、土師器壺B(少數)

組成②一土師器壺A(体部有段風沈線・丸底風平底)、土師器甕(口縁部外反)

【政庁区画施設(築地内溝)(803~811年)】

志波城跡第85次調査SD515政庁築地内溝跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴) : 須恵器壺(口縁部直線の外傾、底部再調整)

【郭内北部工房域(堅穴建物)(803~811年)】

志波城跡第16次調査SI371堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第51次調査SI441堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴) :

組成①一土師器壺A・土師器甕(口縁部外反、長胴・球胴)

組成②須恵器壺(口縁部直線の外傾、底部へラ切り), あかやき土器壺(口縁部内湾ぎみ外傾、非主体),

土師器壺B(口縁部内湾ぎみ外傾、非主体), あかやき土器甕、須恵器甕

【外郭南辺兵舎域(堅穴建物)(803~811年)】

志波城跡第49次調査SI385・435・437堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第49次調査SI436・439堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第49次調査SI438堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

志波城跡第49次調査SI440堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴) : 須恵器壺(口縁部直線の外傾、底部へラ切り・再調整),

須恵器蓋、須恵器高台付塊、須恵器長頸瓶,

あかやき土器(口縁部内湾ぎみ外傾、非主体), あかやき土器甕,

土師器壺B(口縁部内湾ぎみ外傾、非主体), 土師器甕(口縁部外反、長胴・球胴)

【政庁主要舍殿(西脇殿)柱抜取穴(812年頃)】

志波城跡第37次調査SB580西脇殿跡掘方抜取穴出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴) : 須恵器壺(口縁部直線の外傾、底部へラ切り・系切り・再調整), 須恵器蓋

律令政府系計画集落

館遺跡第1・2次調査RA003・012堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

館遺跡第1次調査RA004・009堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

館遺跡第1次調査RA005堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

館遺跡第1・2次調査RA006・013堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

松ノ木遺跡第6次調査RA026・027堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

組成(特徴)：須恵器壺(口縁部直線的外傾、底部糸切り), あかやき土器(内湾きみ外傾、底部糸切り),
 土師器壺B(内湾きみ外傾、底部糸切り・再調整、非主体), 土師器甕(口縁部外反),
 あかやき土器甕, 須恵器壺・甕・大甕

在地蝦夷系一般集落

台太郎遺跡第25次調査RA332・337・335・341堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

館野前遺跡第1次調査RA002堅穴建物跡出土土器〔※前稿参照〕

一本松遺跡第3次調査RA109・110・111・112・131堅穴建物跡, RE102堅穴状遺構出土土器〔※前稿参照〕

上畠遺跡第5次調査RA042堅穴建物跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：

組成①—土師器壺A(口縁部内湾・体部有段風沈線または沈線なし, 丸底風平底),

土師器壺B(口縁部内湾きみ外傾, 非主体), 土師器甕(口縁部外反, 長胴・球胴)

組成②—須恵器壺(口縁部直線的外傾、底部ヘラ切り・糸切り),

土師器甕(口縁部外反, 長胴・球胴), 須恵器大甕

組成③—土師器壺A(口縁部内湾・体部有段風沈線, 平底風丸底), 土師器壺B(口縁部内湾きみ外傾),

須恵器壺(口縁部直線的外傾), あかやき土器壺(口縁部内湾きみ外傾),

あかやき土器甕, 土師器甕

■9世紀中葉

在地蝦夷系一般集落

台太郎遺跡第73次調査RA655堅穴建物出土土器(盛岡市教委編2012)〔第5図〕

台太郎遺跡第73次調査RA660堅穴建物出土土器(盛岡市教委編2012)〔第6図〕

南仙北遺跡37・38次調査RA020堅穴建物出土土器(盛岡市教委編2014b)〔第7図〕

台太郎遺跡第27次調査RG339溝跡出土土器〔※前稿参照〕

館野前遺跡第1次調査RA003・004堅穴建物跡〔※前稿参照〕

一本松遺跡第3次調査RA126・127堅穴建物跡〔※前稿参照〕

百目木遺跡第14次調査RA117堅穴建物跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：土師器壺B(口縁部内湾きみ外傾, 底部糸切り・再調整), 土師器高台付壺(少数),
 あかやき土器壺(口縁部内湾きみ外傾, 底部糸切り),
 須恵器壺(口縁部内湾きみ外傾, 底部糸切り), 土師器甕(口縁部外傾・長胴),
 あかやき土器甕, 須恵器大甕・甕・壺・長頸瓶,

■9世紀後葉

在地蝦夷系一般集落

野古A遺跡第21次調査 RA056 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第8図〕

野古A遺跡第25次調査 RA073 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第9図〕

台太郎遺跡第73次調査 RA654 壓穴建物跡（盛岡市教委編2012）〔第10図〕

台太郎遺跡第77次調査 RA669 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014c）〔第11図〕

飯岡才川遺跡第11次調査 RA027 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014b）〔第12図〕

南仙北遺跡第37・38次調査 RA025 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014b）〔第13図〕

本宮熊堂B遺跡第12次調査 RA030 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第24次調査 RA305 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第40次調査 RA536 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

台太郎遺跡第45次調査 RA565 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

組成(特徵)：あかやき土器坏(底径やや小型化、底部糸切り、主体)、あかやき土器高台付坏、
あかやき土器耳皿、土師器坏B(底径やや小型化、底部回転糸切り・再調整)、
土師器高台付坏、須恵器坏(少數)、あかやき土器甕(主体化傾向)、
土師器甕(口部短化・全体に粗雑化)、須恵器大甕・甕・壺・長頸瓶

■10世紀前葉

在地蝦夷系特殊集落

林崎遺跡第1次調査 RA001・003 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

林崎遺跡第1次調査 RA004 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

林崎遺跡第1次調査 RA007 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

林崎遺跡第1次調査 RA009 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

林崎遺跡第22次調査 RA027 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

組成(特徵)：あかやき土器坏(底径小型化・主体)、あかやき土器高台付坏(高台やや大型化)、
土師器坏B(底径やや小型化、底部糸切り・再調整)、あかやき土器甕

在地蝦夷系一般集落

【10世紀初頭(埋土下層に十和田火山灰(915年降下)】

本宮熊堂B遺跡第23次調査 RA082 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第14図〕

宮沢遺跡第9次調査 RA009 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第15図〕

【10世紀前葉】

宮沢遺跡第9次調査 RA004 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第16図〕

本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA131 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第17図〕

本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA137 壓穴建物跡（盛岡市教委編2014a）〔第18図〕

二又遺跡第9次調査 RA007 壓穴建物跡（盛岡市教委2013）〔第19図〕

二又遺跡第10次調査 RA010 壓穴建物跡（盛岡市教委2013）〔第20図〕

猪去館遺跡第1次調査 RA501・502 壓穴建物跡〔※前稿参照〕

猪去館遺跡第1次調査 RA506・508 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

猪去館遺跡第1次調査 RA507 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

本宮熊堂B遺跡第12次調査 RA027 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

一本松遺跡第3次調査 RA121・129・119・125 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：あかやき土器(底径小型化、底部やや付高台風、主体)，

あかやき土器高台付环(高台やや大型化・菊花文)、土師器环B(底部やや付高台風)，

土師器高台付环、あかやき土器甕、土師器甕(全体的に粗雑)、須恵器大甕・甕

■10世紀中葉

在地蝦夷系特殊集落

林崎遺跡第1次調査 RA002 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

林崎遺跡第16次調査 RG007 大溝跡〔※前稿参照〕

林崎遺跡第22次調査 RA028 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

大宮北遺跡第11・13次調査 RG015 溝跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：あかやき土器(全体形がやや小型化、主体)、あかやき土器高台付环(高台やや大型化)，

土師器环B(内外黒色処理が増加)

在地蝦夷系一般集落

本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA132 壺穴建物跡(盛岡市教委編2014a)〔第21図〕

本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA083 壺穴建物跡(盛岡市教委編2014a)〔第22図〕

本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA136 壺穴建物跡(盛岡市教委編2014a)〔第23図〕

猪去館遺跡第1次調査 RA504 壺穴建物跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：あかやき土器环(全体形がやや小型化)、あかやき土器高台付环(高台やや大型化)，

土師器环B(内外黒色処理が増加)、あかやき土器甕、土師器甕、須恵器大甕・甕

■10世紀後葉

在地蝦夷系特殊集落

大宮北遺跡第8次調査 RD008 土坑〔※前稿参照〕

組成(特徴)：あかやき土器环(小型化)、あかやき土器高台付环(高足高台・削出高台)，

あかやき土器甕

在地蝦夷系一般集落

本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA133 壺穴建物跡(盛岡市教委編2014a)〔第24図〕

台太郎遺跡第27次調査 RG378 溝跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：あかやき土器(小型化)、あかやき土器高台付环(高足高台・削出高台)，

土師器环B、土師器高台付环(削出高台)、あかやき土器甕、土師器甕

■11世紀

在地蝦夷系特殊集落

大宮北遺跡第17次調査 RZ002 土器廐棄土坑（盛岡市教委 2014）〔第25図〕

組成(特徴)：あかやき土器壺(小型化), あかやき土器小皿, あかやき土器高台付壺(削出高台が増加),
土師器壺B(内外面黒色処理)

在地蝦夷系一般集落

二又遺跡第9次調査 RA009 壁穴建物跡（盛岡市教委 2013）〔第26図〕

台太郎遺跡第25次調査 RA393 壁穴建物跡〔※前稿参照〕

台太郎遺跡台40次調査 RG360 構跡〔※前稿参照〕

組成(特徴)：土師器壺B(三角高台・内外面黒色処理), あかやき土器壺(小型化),
あかやき土器高台付壺(削出高台が増加),

3. 総括

以上、零石川南岸で盛岡市教育委員会が調査した古代遺跡出土土器群について、近年刊行された発掘調査報告書によるものを追加して、編年試案の改訂と資料集成を提示した。追加できた年代は、8世紀後葉～9世紀前葉、9世紀中葉、9世紀後葉、10世紀前葉、10世紀中葉、10世紀後葉、11世紀であり、前稿ではっきりしなかった10・11世紀の在地蝦夷系一般集落の土器群を追加できた意義は大きい。

本稿で追加した土器群の中には、遺構埋土中より出土した炭化材について放射性炭素(¹⁴C)年代測定を行っているものがあり、その結果は以下のとおりである。なお、暦年較正年代の数値は2標準偏差(2σ)[95.4%]である。

図	遺跡	次数	遺構	¹⁴ C暦年較正年代 (cal AD)	土器群推定年代 (本稿試案 AD)	年代重複
8	野古A	21	RA056	730～888	9世紀後葉(867～900)	867～888年
9	野古A	25	RA073	780～970	9世紀後葉(867～900)	867～900年
16	宮沢	09	RA004	723～887	10世紀前葉(901～933)	なし(14年乖離)
21	本宮熊堂B	28	RA132	892～985	10世紀中葉(934～966)	934～966年
22	本宮熊堂B	28	RA083	777～937	10世紀中葉(934～966)	934～937年
23	本宮熊堂B	28	RA136	781～970	10世紀中葉(934～966)	934～966年
24	本宮熊堂B	28	RA133	777～937	10世紀後葉(967～1000)	なし(30年乖離)

暦年較正年代は、全体として本稿で推定した土器年代より古い結果となっているが、測定炭化材の「古木効果」など^(注1)によるものと理解できる。その中にあって年代重複がある土器群については、その推定年代が妥当である可能性が高い。一方、14～30年の年代乖離がある10世紀前葉、10世紀後葉とした土器群は、それぞれ1段階古い9世紀後葉、10世紀中葉の土器群である可能性があるものの、その判断は今後の検討課題として保留したい。

また、壁穴建物跡の床面付近、埋土下層に十和田a火山灰(915年降下)が多く混じる、本宮熊堂B遺跡

第23次調査RA082出土土器群（第14図）と、宮沢遺跡第9次調査RA009出土土器群（第15図）については、10世紀初頭（901～915 AD）の年代が確定できる重要な資料と言える。

前稿・本稿で提示した資料の検討により、「斯波（志波）」郡北部の7世紀から11世紀までの古代土器群変遷（編年）を具体的に概観することができた。一方、前稿でも触れたことだが、当該地域では県の埋蔵文化財センターが、盛南開発区画整理事業や国道46号線盛岡西バイパス建設、県道盛岡和賀線整備に伴い市教委を大きく上回る数多くの古代集落の発掘調査を行っており、全体像を把握するためにはそれら資料の検討が不可欠であり、今後の大きな課題である。

※1：「古木効果」とは、木の伐採された年代と実際に木が使用され、廃棄された年代との間に生じる差。一般的に、燃料材より建築材はその差が大きくなると考えられる。これとは別に、分析資料採取時に樹皮や最外年輪部が失われている場合にも、理論上、採取できた部分までの年輪分古い年代が示されることになる。

【引用文献】

- 津嶋知弘 2004 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』蝦夷研究会編 高志書院
津嶋知弘 2013 「古代「斯波（志波）」郡北部の土器群変遷（その1）－寒石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料を中心に－」盛岡市遺跡の学び館学芸レポート Vol.002（盛岡市ホームページ）

【発掘調査報告書】

- 盛岡市教育委員会編 2012 『台太郎遺跡-「フローラルアベニュー向中野」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書-』
徳清倉庫株式会社・盛岡市教育委員会
盛岡市教育委員会 2013 『盛岡市内遺跡群-平成22・23年度発掘調査報告書-（西黒石野遺跡・小山遺跡・二又遺跡）』
盛岡市教育委員会編 2014a 『盛南地区遺跡群発掘調査報告書V-盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査②-大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡-』独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会
盛岡市教育委員会編 2014b 『盛南地区遺跡群発掘調査報告書VI-盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査③-飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡-』独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会
盛岡市教育委員会編 2014c 『台太郎遺跡-株式会社クリナップ盛岡営業所建設工事に伴う緊急発掘調査報告書-』
徳清倉庫株式会社・盛岡市教育委員会
盛岡市教育委員会 2014 『盛岡市内遺跡群-平成24・25年度発掘調査報告書-（台太郎遺跡・大宮北遺跡）』

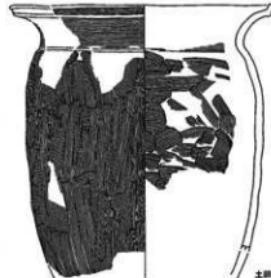
CH021(H15)RA057



土師器環-RA057-J1層



土師器素台付环-RA057-J1層



土師器壺-RA057-底面

0 10cm

第1図 野古A遺跡第21次(H15)RA057 積穴建物跡[8世紀後葉～9世紀前葉]

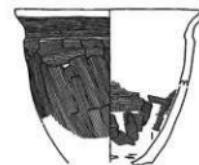
CH025(H16)RA074



土師器環-RA074-底面D層



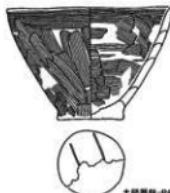
土師器環-RA074-底面マニJ層



土師器小型壺-RA074-マニ火灰面



土師器球形壺-RA074-A層



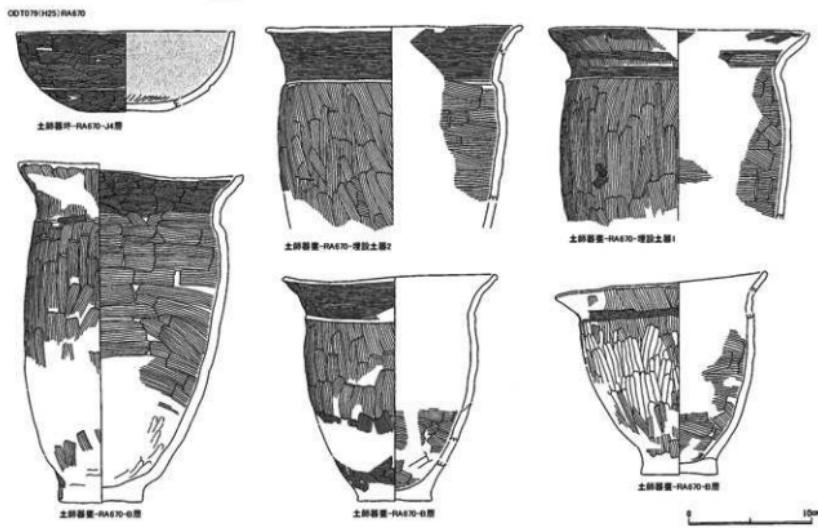
土師器環-RA074-マニA層



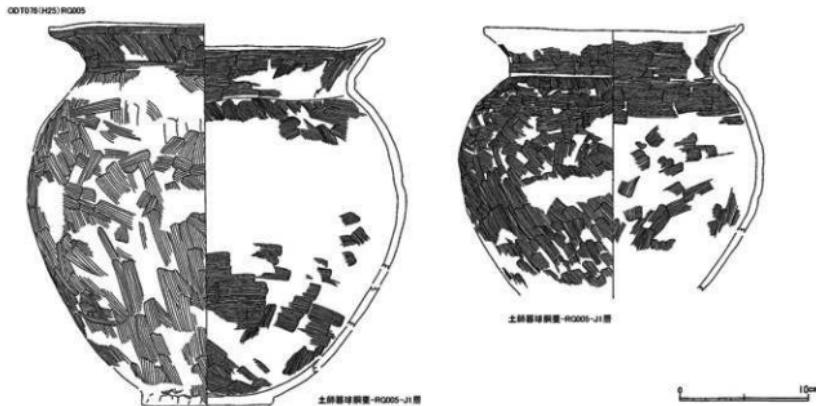
土師器壺-RA074-マニ左袖付近底面

0 10cm

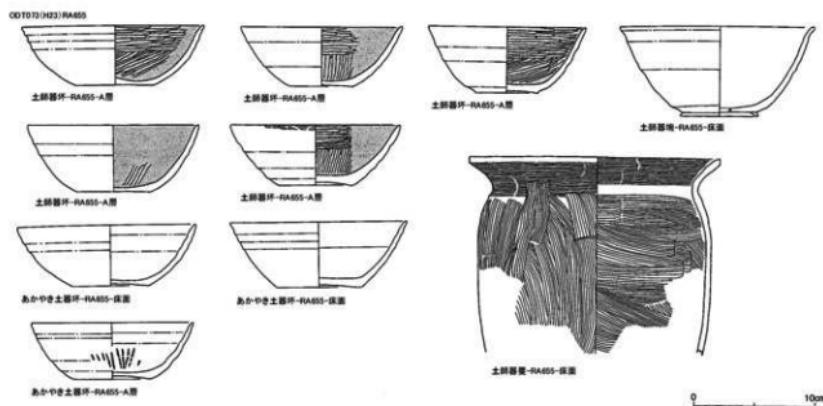
第2図 野古A遺跡第25次(H16)RA074 積穴建物跡[8世紀後葉～9世紀前葉]



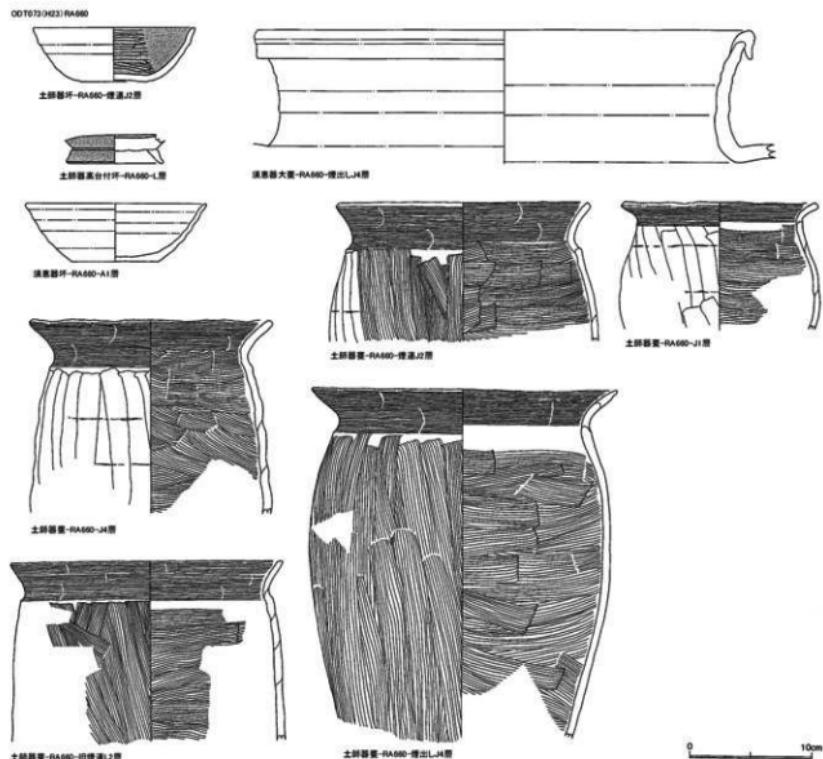
第3図 台太郎遺跡第79次(H25)RA670堅穴建物跡[8世紀後葉~9世紀前葉]



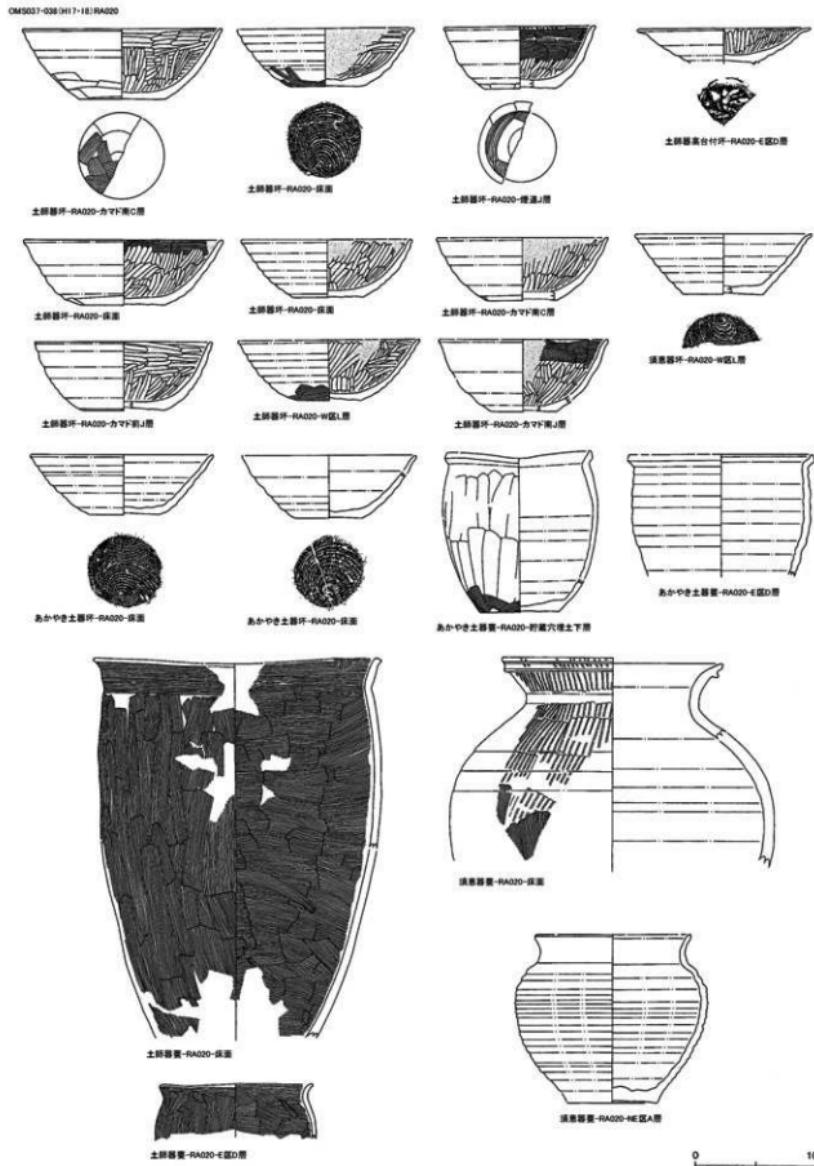
第4図 台太郎遺跡第78次(H25)RG005大溝跡[8世紀後葉~9世紀前葉]



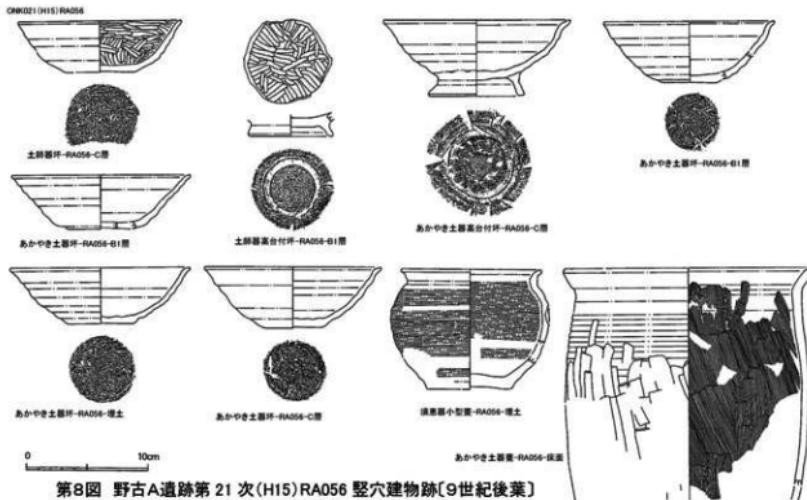
第5図 台太郎遺跡第73次(H23)RA655 竪穴建物跡[9世紀中葉]



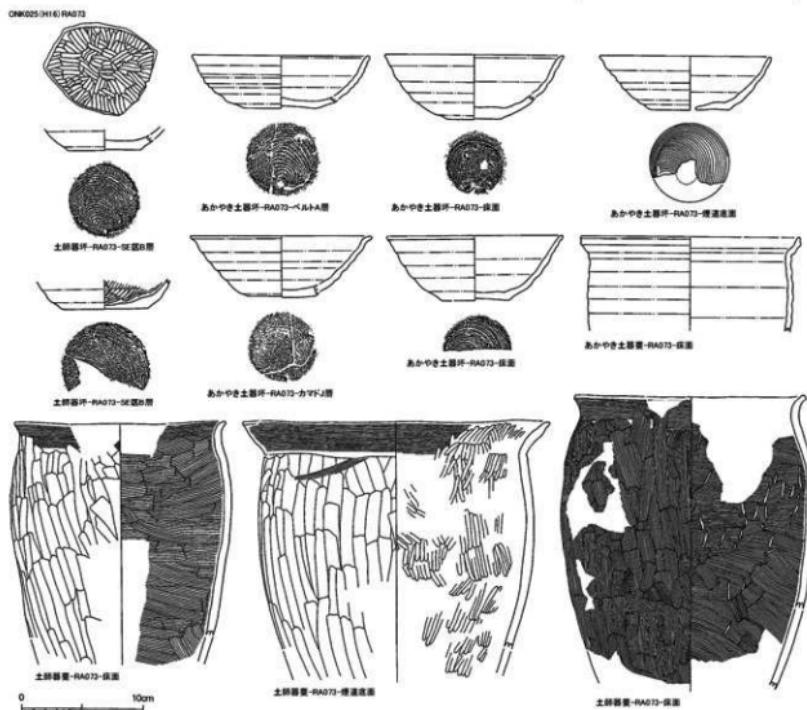
第6図 台太郎遺跡第73次(H23)RA660 竪穴建物跡[9世紀中葉]



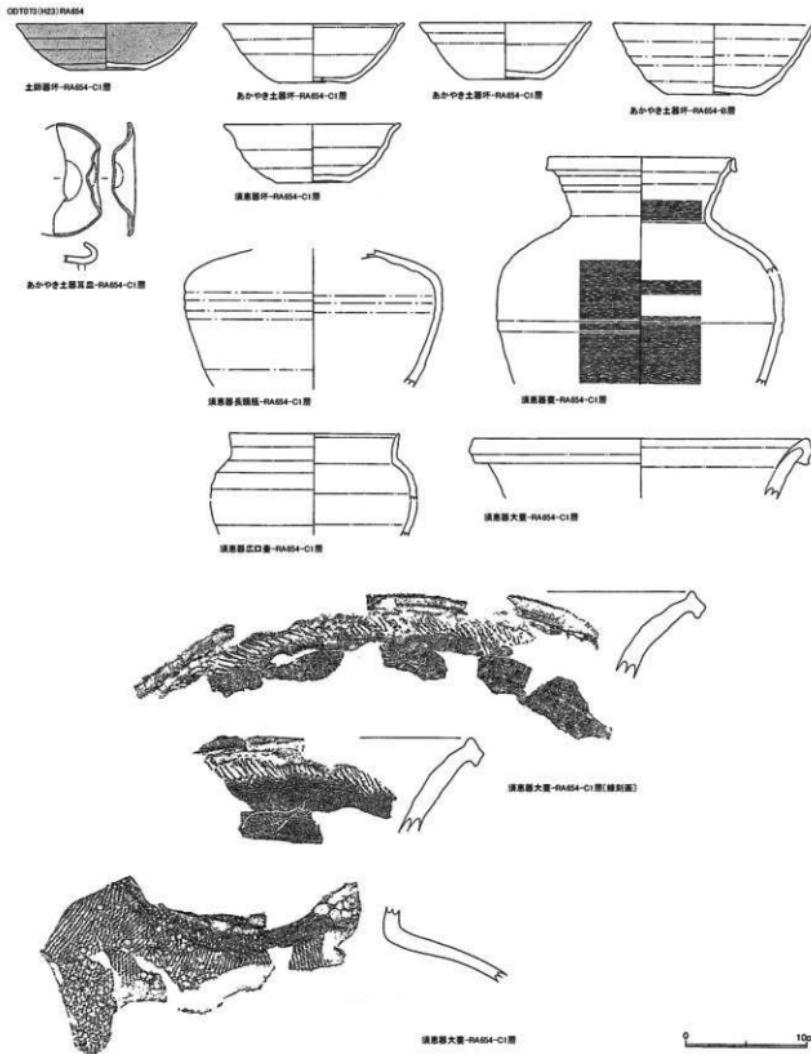
第7図 南仙北遺跡第37・38次(H17+18)RA020 竪穴建物跡[9世紀中葉]



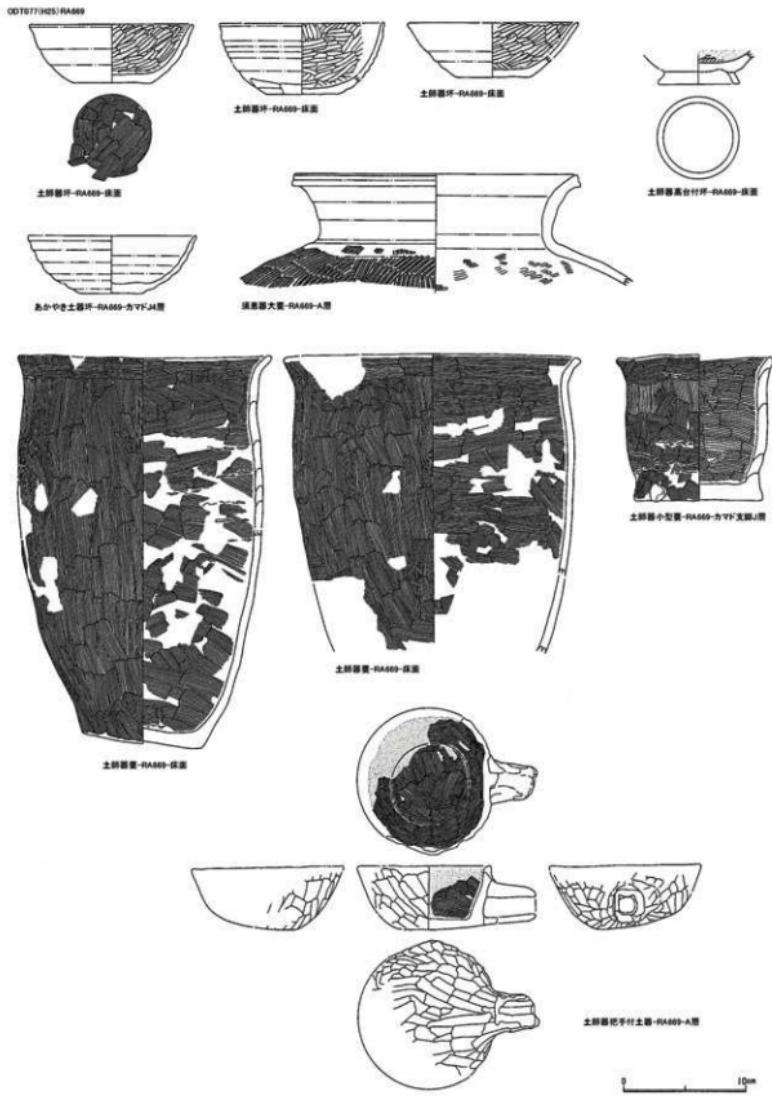
第8図 野古A遺跡第21次(H15)RA056 積穴建物跡[9世紀後葉]



第9図 野古A遺跡第25次(H16)RA073 竪穴建物跡[9世紀後葉]

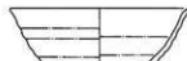


第10図 台太郎遺跡第73次(H23)RA654 竪穴建物跡[9世紀後葉]



第11図 台太郎遺跡第77次(H25)RA669 竪穴建物跡[9世紀後葉]

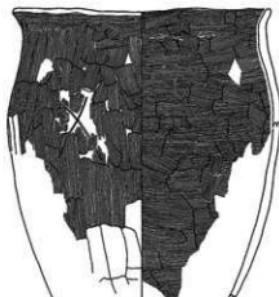
ISW011(H17)RA027



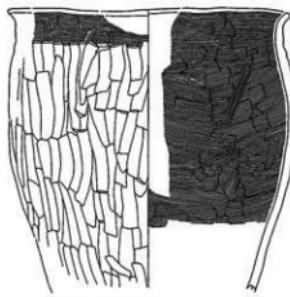
赤小字土器片-RA027-A面

赤小字土器片-RA027-外表面

土器器片-RA027-B面



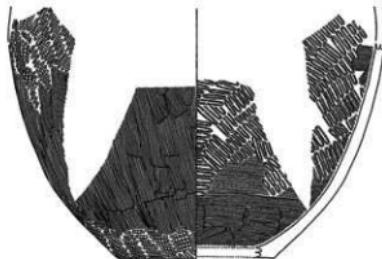
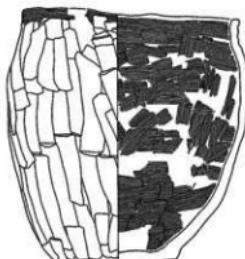
土器器片-RA027-底面



土器器片-RA027-内面J面



土器器小型片-RA027-J面



漆器器片-RA027-p17

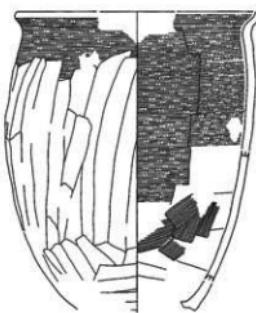
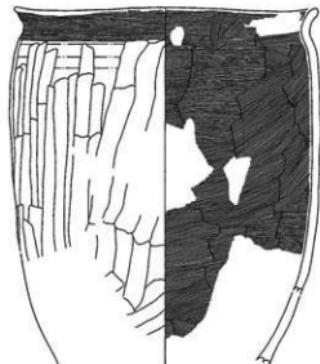
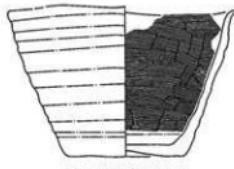


土器器片-RA027-B面



第12図 飯岡才川遺跡第11次(H17)RA027 竪穴建物跡[9世紀後葉]

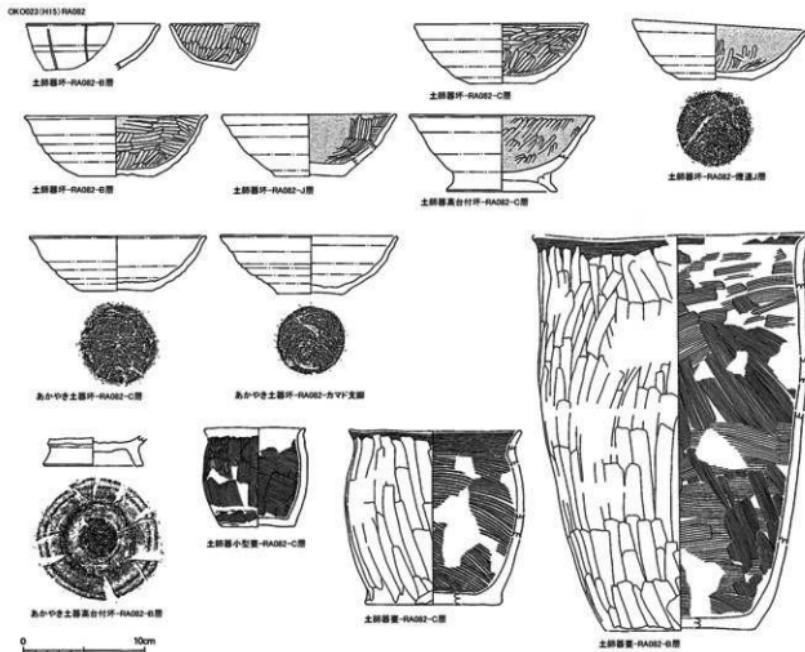
OMS37-38(H17-18)RA025



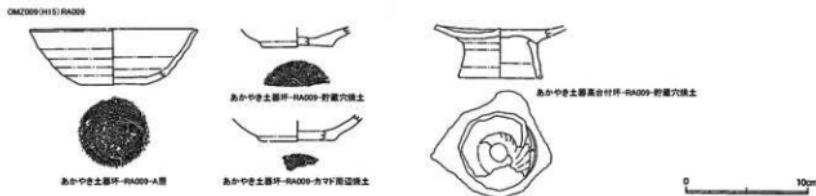
OMIS37-38(H17-18)RA025 土器片-H



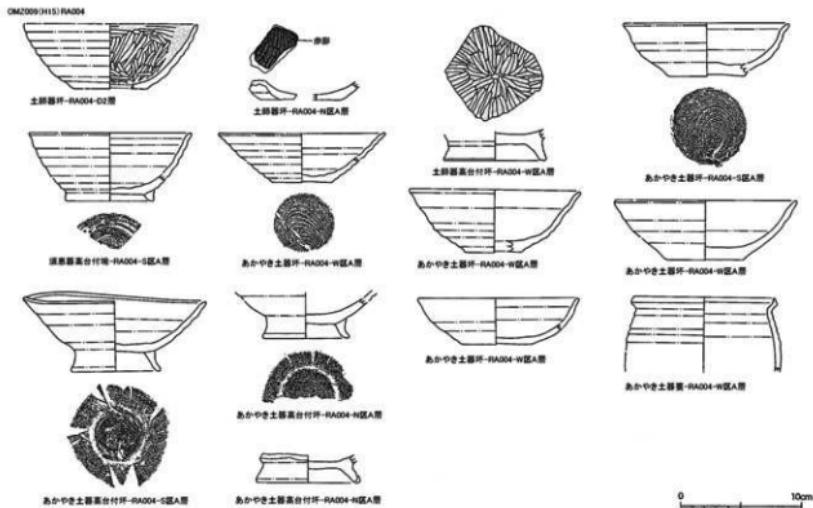
第13図 南仙北遺跡第37・38次(H17・18)RA025 積穴建物跡[9世紀後葉]



第14図 本宮熊堂B遺跡第23次(H15)RA082 壇穴建物跡[10世紀初頭]
【埋土下層に十和田a火山灰(915年降下)】

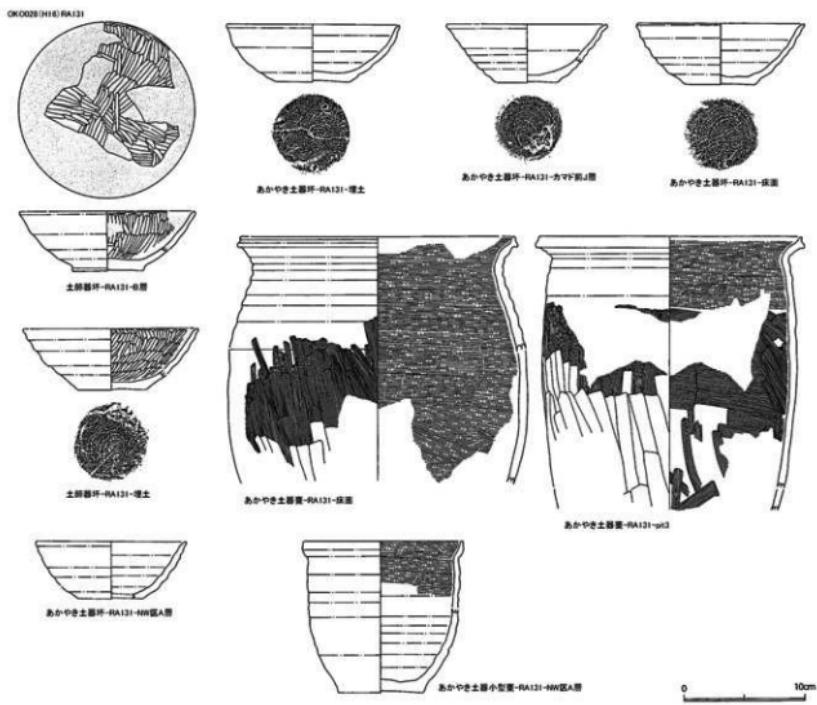


第15図 宮沢遺跡第9次(H15)RA009 壇穴建物跡[10世紀初頭]
【埋土下層に十和田a火山灰(915年降下)】

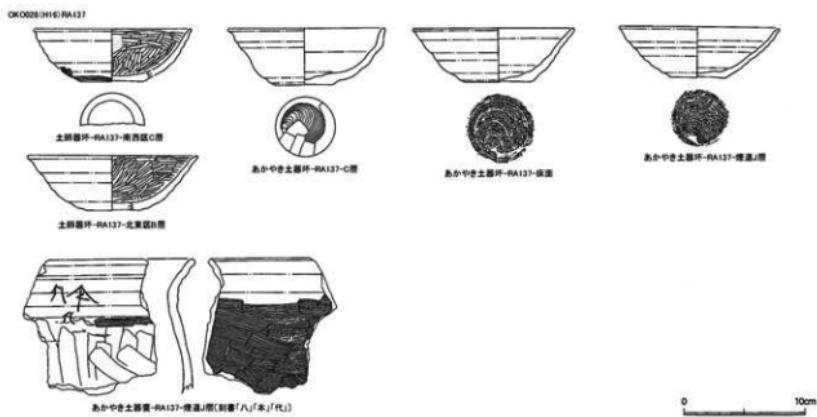


0 10cm

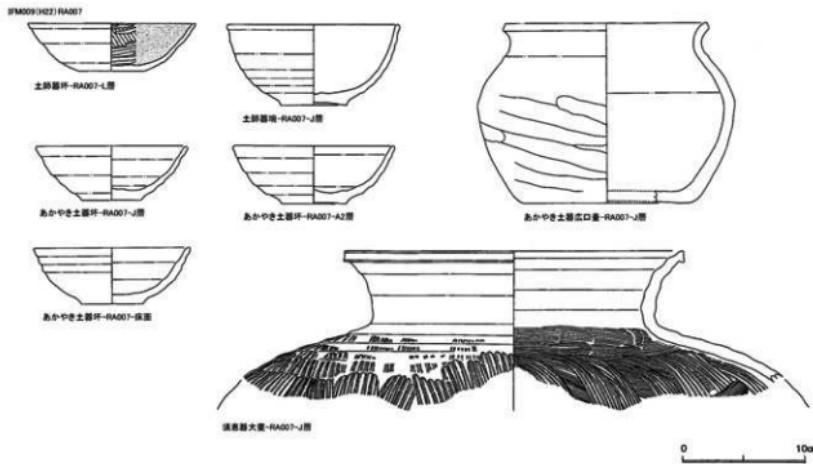
第16図 宮沢遺跡第9次(H15)RA004堅穴建物跡[10世紀前葉]



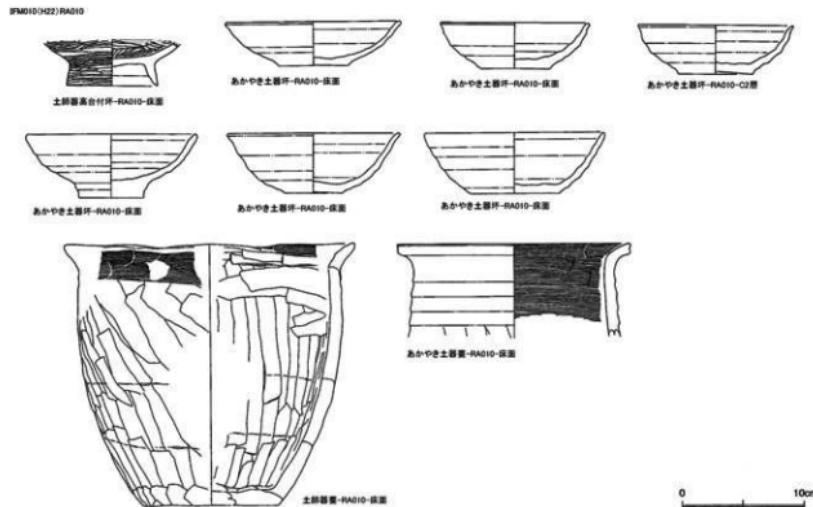
第17図 本宮熊堂B遺跡第28次(H16)RA131 竪穴建物跡[10世紀前葉]



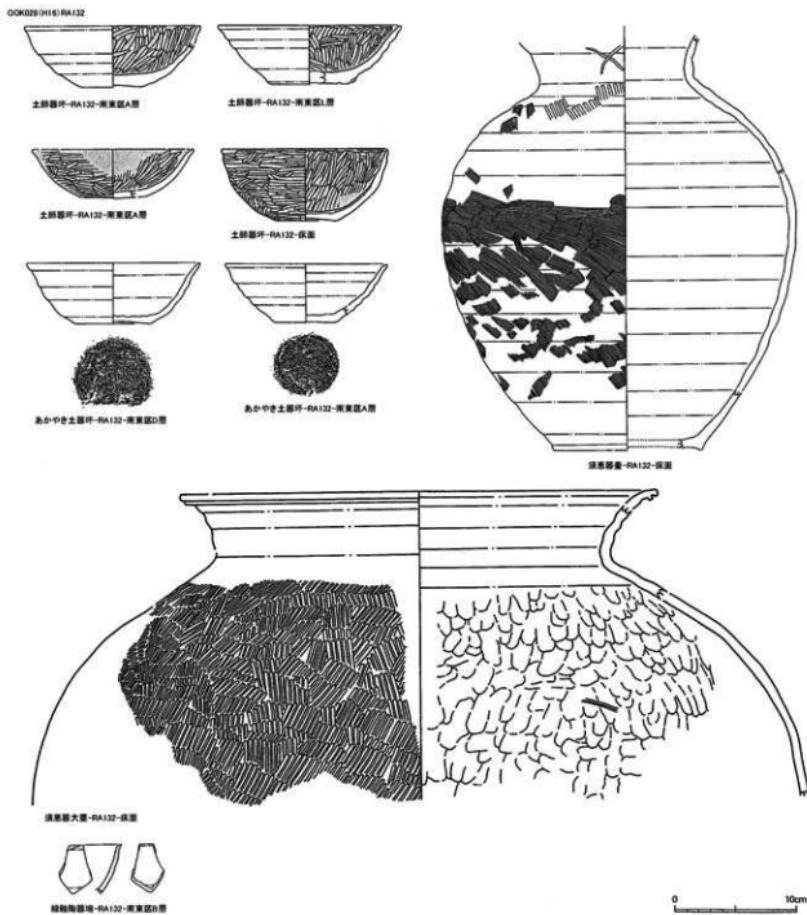
第18図 本宮熊堂B遺跡第28次(H16)RA137 竪穴建物跡[10世紀前葉]



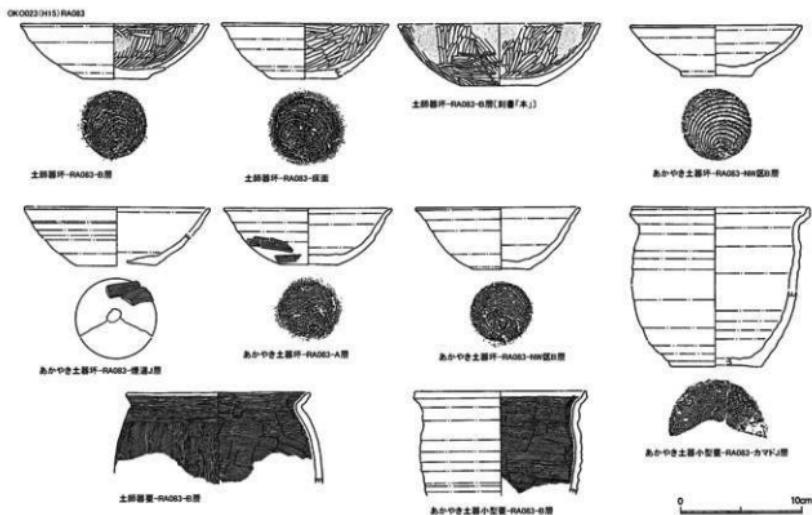
第19図 二又遺跡第9次(H22)RA007 竪穴建物跡[10世紀前葉]



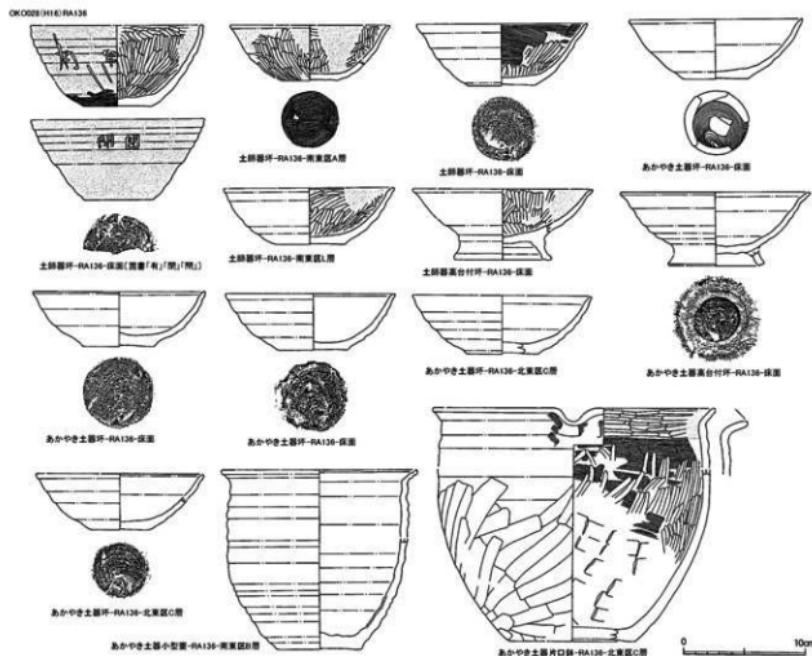
第20図 二又遺跡第10次(H22)RA010 竪穴建物跡[10世紀前葉]



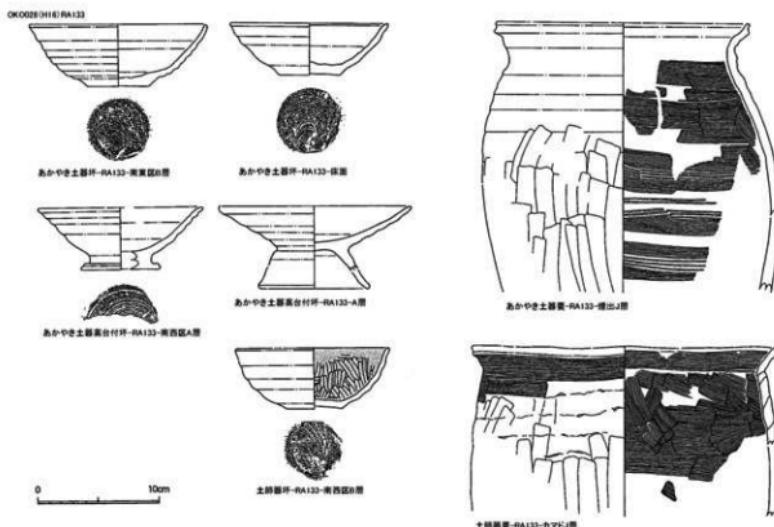
第21図 本宮熊堂B遺跡第28次(H16)RA132 竪穴建物跡[10世紀中葉]



第22図 本宮熊堂B遺跡第23次(H15)RA083 竪穴建物跡[10世紀中葉]

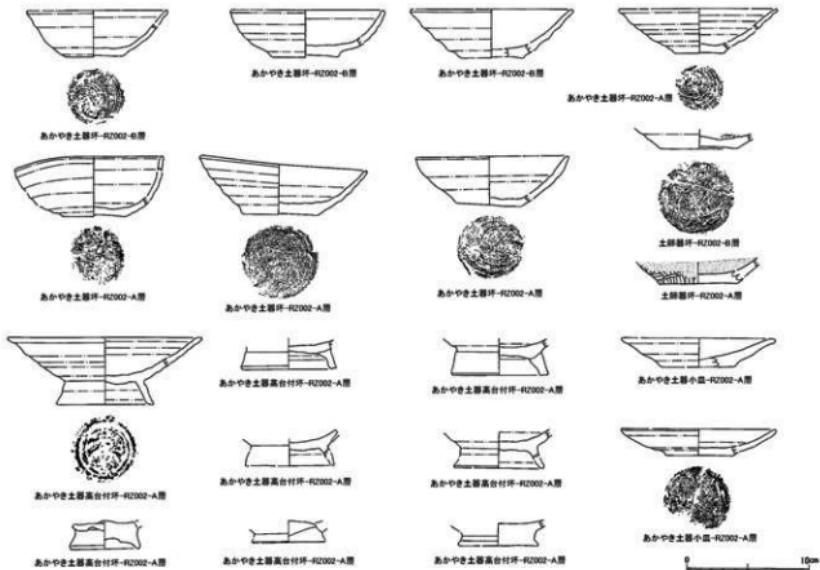


第23図 本宮熊堂B遺跡第28次(H16)RA136 竪穴建物跡[10世紀中葉]



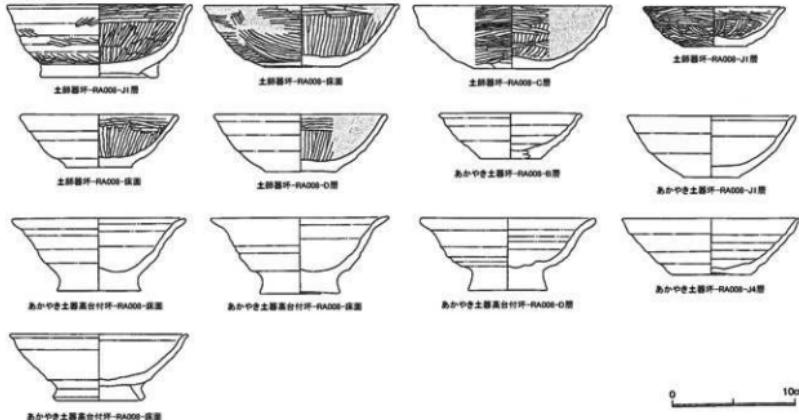
第24図 本宮熊堂B遺跡第28次(H16)RA133 竪穴建物跡[10世紀後葉]

GOK017(H25)R2002



第 25 図 大宮北遺跡第 17 次(H25)R2002 土器廃棄土坑[11世紀]

IM009(H22)RA008



第 26 図 二又遺跡第 9 次(H22)RA009 竪穴建物跡[11世紀]

古代「斯波(志波)」郡北部(志波城跡、太田地区、飯岡地区)の土器群変遷試案

年代	遺跡	墓葬	墓葬	城内工房域	「造治遺跡」関連(工房)	政序域	
初期（大化改新）	在地經系系統墓葬 「民」	竹富1次RM027整穴					
I (主の私)	7世紀後半	台太郎25次RM435整穴					
I (多賀城宮室)	8世紀前葉	台太郎27次RM490整穴					
I (伊治城・桃生城遺跡)	8世紀中葉	台太郎55次RM613整穴 西面20・21次RM406整穴					
銀美vs律市政府文教期	8世紀後葉	台太郎25次RM381・379整穴 台太郎26次RM405整穴 台太郎27次RM406整穴 台太郎28次RM407整穴					
法隆寺～慈恩城統治期	9世紀前葉	台太郎25次RM422・321整穴 台太郎26次RM435・341整穴 台太郎27次RM436整穴 台太郎28次RM437整穴 台太郎29次RM438整穴 台太郎30次RM439整穴 台太郎31次RM440整穴 台太郎32次RM441整穴 上層2次RM442整穴 西面20・21次RM443整穴 豊吉1次RM444整穴 豊吉2次RM445整穴 台太郎33次RM446整穴 台太郎34次RM447整穴	松ノ木2次RM402・421整穴 松ノ木1次RM403整穴 松ノ木2次RM404整穴 松ノ木3次RM405整穴 松ノ木2次RM406整穴 松ノ木3次RM407整穴 松ノ木4次RM408整穴	49次SI436・439整穴 (803-811) 49次SI438整穴 (803-811) 49次SI385, 435, 437整穴 (803-811) 49次SI440整穴 (803-811)	16次SI371 (803-811) 51次SI441 (803-811)	36次SI436整穴 (803) 38次SI424・430整穴 (803) 97次SI459整穴 (803) 34次SI425整穴 (803) 102次SI446整穴 (803) 92次SI458整穴 (803)	85次SI515政序南面要地内溝 (803-811)
田沢城広域統治期	9世紀中葉	台太郎27次RM339整穴 首富1次RM4011・12整穴 一本3次RM418・127整穴 能野1次RM403・304整穴 一本3次RM419・128整穴 台太郎28次RM441整穴 能野北27・38次RM402整穴				37次SB580政序西側柱抜き柱 (812)	
I (雄奥国で貞觀大廈) (出羽國で光慶の私)	9世紀後葉	本宮堂12次RM400整穴 台太郎24次RM403整穴 台太郎24次RM405整穴 台太郎40次RM456整穴 豊吉17次RM406整穴 豊吉23次RM407整穴 本宮堂73次RM408整穴 本宮堂77次RM409整穴 南仙北11次RM402整穴 南仙北37・38次RM405整穴					
(十和田湖火山大噴火)	10世紀初頭	本宮堂12次RM408整穴 本宮堂12次RM409整穴 精金堂12次RM410・411整穴 精金堂12次RM410・412整穴 精金堂12次RM410・413整穴 本宮堂12次RM410・414整穴 一本3次RM412・121・129整穴 一本3次RM419・125整穴 宜野1次RM404整穴 本宮堂12次RM411・415整穴 本宮堂12次RM412・417整穴 二又造跡9次RM407整穴 二又造跡10次RM410整穴	林崎12次RM411・413整穴 林崎12次RM405・508整穴 林崎12次RM407整穴 林崎12次RM407整穴 林崎12次RM409整穴 林崎12次RM410・412・413整穴				
I (御奥系人物新附)	10世紀前葉	精金堂1次RM045整穴 本宮堂12次RM412・413整穴 本宮堂12次RM405・406整穴 本宮堂12次RM413・415整穴					
I (出羽国伊豆反乱)	10世紀中葉	精金堂1次RM045整穴 本宮堂12次RM412・413整穴 本宮堂12次RM405・406整穴 本宮堂12次RM413・415整穴	大宮北11・13次RM015溝 林崎12次RM002整穴 林崎12次RM002整穴 林崎12次RM007大溝				
高麗安堵支配期	10世紀後葉	台太郎27次RM378整穴 本宮堂12次RM401・412整穴	大宮北12次RM007土坑				
前九年・後三年合戦	11世紀	台太郎55次RM420整穴 台太郎40・42次RM450溝 二又造跡9次RM409整穴	大宮北17次RM2002土坑				